



TITLE:

## [24-6]水野浩一氏の七回忌に関する 会計報告

AUTHOR(S):

口羽, 益生; 水野, 松子

---

CITATION:

口羽, 益生 ...[et al]. [24-6]水野浩一氏の七回忌に関する会計報告. DDニ  
ュースレター 1986, 24: 81-82

ISSUE DATE:

1986-01-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/236278>

RIGHT:

個人情報保護のため非表示の部分があります。

水野浩一氏の七回忌に関する会計報告

口羽益生

過日、10月19日のセミナーにおきまして、水野浩一学兄の七回忌の供物料について突然御協力をお願いしましたところ、快くご賛同、ご協力いただき、ありがとうございました。集りました金額は計7万円ありました。それを全額、水野浩一氏の七回忌のご供物料として、水野夫人の東京のお宅の方に10月21日に、下記のように献金者名を付記して送りました。また水野夫人からは、丁寧なご礼状をいただきました。それを記載させていただき、会計報告に変えさせていただきます。年の瀬も近づきました。多事多端のおり、くれぐれもご自愛ください。

石井米雄	黒田俊郎	坪内良博	古川久雄
内田晴夫	小池 聡	友杉 孝	星川和俊
応地利明	末廣 昭	野間晴雄	前田成文
加藤 剛	須羽新二	橋本 卓	松藤宏之
河野泰之	武邑尚彦	林 行夫	前川俊清
海田能宏	田中耕司	原洋之介	宮川修一
菊池真夫	辻井 博	福井捷朗	
口羽益生	土屋健治	舟橋和夫	

1985年10月29日

ドンデーン研究国内セミナーご参会の皆様

生前浩一が御世話になりました皆様方に御無沙汰ばかり失礼致して申しわけなく存じて居ります。

今年早や七回忌を迎え感慨も深いものがございます。ドンデーンの村のことは私自身は浩一の話聞くのみでございましたが、その追跡調査が今も皆様のお力で継続されているということは、浩一にとりましてはさぞや本懐とするところではないかと思わずにいられません。

そして此度、その中間報告会にて浩一への皆様のお気持ちを七回忌のお供えとして頂きましたので早速霊前に供えさせていただきましたが、私と淳一、洋二、明と共にここに心より有難く御礼申し上げます。

長男淳一は千葉大理学部2回生、次男洋二は専修大経済二部1回生、三男明は来春小学校卒業へと、この6年間に過ぎましたが、まだまだの者ばかりでございます。これからも皆様の御指導の程よろしく御願い申し上げます。今までは夢中で過ぎましたが、来春より明も京都にて中学進学を考えて居りますので、皆様とも御目にかかる機会があります様、願って居ります。御一人ずつの皆様に御礼申し上げるべきところでございますが、私共の感謝の気持ちと、ドンデーン研究のご進展とご成果を心待ちして、皆様のお健やかならんことをお祈り申し上げます。そしていつに変わらぬ浩一への永い暖かい皆様のお気持ちに最も嬉しく有難く、これからもゆきたく存じます。

水野松子

